

目 次

I. 総合研究報告

- HIV・エイズの早期治療実現に向けての研究 ----- 1
谷口俊文

II. 分担研究報告

1. 数理モデルによるHIV・エイズの早期治療の効果に関する研究 ----- 8
尾又一実

(資料) 図1：5つのコンパートメント、未感染集団
図2：手法2による推計結果
図3：感染数理モデル（コンパートメント・モデル）による推計結果

2. 新規HIV感染者の過去のレセプトデータから入院情報を抽出、発症者の解析および
NDBから得られるHIV感染者のコホートから一人あたりの年間の総医療費算出 ----- 14
野田龍也

(資料) 図1：NDB上の2013年～2020年までの総医療費
図2：NDB上の2013年～2020年までの総医療費の内訳 一人当たりの医療費
図3：NDBを利用したHIV感染者とエイズ発症者の把握 2015年4月～2020年3月
図4：NDB上の新規抗HIV薬による治療を開始した患者の年齢別内訳
図5：抗HIV薬投与開始日から前後12か月間の一人あたりの全体医療費
表1：分析対象患者の分布
表2：評価基準日の前後12か月間における医療費（全体）
表3：評価基準日の前後12か月間における医療費（入院）
表4：評価基準日の前後12か月間における医療費（外来）
別添資料：抗HIV薬マスタ

3. HIV新規未治療患者と身体障害者手帳認定についての研究 ----- 29
今橋真弓

(資料) 表1：患者背景
図1：治療開始までの日数
図2：治療未導入の理由
表2：治療導入の有無に関連のある因子（赤字は有意差を認めた因子）
表3：治療導入日数に関連のある因子（赤字は有意差を認めた因子）
図3：初診時既治療かつ身体障害者手帳なしのPLWHについて

- III. 研究成果の刊行に関する一覧表 ----- 37